



組合消防マスコットマーク
“りゅうじんくん”

広域消防

おおず

2025. 7

第125号

50周年記念号

構成市町
大洲市・内子町



【消防職員数】

職員定数 117名
現在員数 110名
内訳～男性消防職員 108名
女性消防職員 2名

※暫定再任用短時間勤務職員除く

大洲地区広域消防事務組合
ホームページから、申請・
届出の様式をダウンロード
できます。

<https://ozu119.jp/>



組合長 二宮 隆久

大洲地区広域消防事務組合長挨拶 「組合発足50周年を迎えて」

大洲地区広域消防事務組合は、昭和50年4月1日、大洲市、長浜町、内子町、五十崎町の1市3町を管轄する組合消防として発足しました。

そして、昭和54年に肱川町及び河辺村、平成17年に小田町を管轄に加え、本年で設立から50周年を迎えました。この節目に当たり、関係各位の叡智とたゆまぬ努力に謹んで敬意を表しますとともに、地域の皆様の深い郷土愛に支えられ、これまで発展してまいりましたことに、心から感謝を申し上げます。

近年、自然災害が激甚化・頻発化し、地震・大雨・土砂災害等による甚大な被害が全国各地で発生しています。当組管内におきましても、平成7年の梅雨前線豪雨や平成16年・17年の台風、平成30年7月豪雨による浸水被害、令和5年11月の戒川林野火災など大規模災害に対応してまいりました。

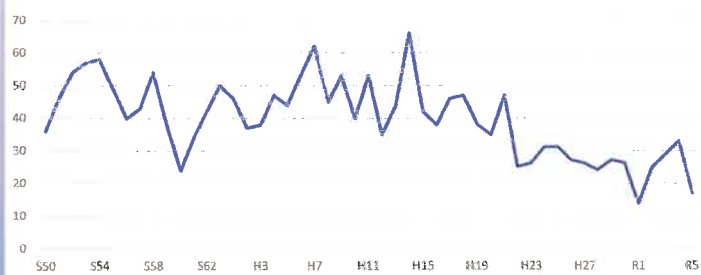
また、東日本大震災や広島の土砂災害、熊本地震の発生時においては、緊急消防援助隊として被災地へ出動し、救助活動等の任務に従事しております。こうした近年の災害状況を踏まえ、今後、災害の最前線で住民の生命・身体・財産を守る消防の果たす役割はますます重要になってくるものと考えております。

当組合といたしましては、火災はもとより今後30年以内に約80%の確率で発生が予想される南海トラフ地震や風水害等の大規模災害に備えるため、施設・装備の充実や組織の拡充、消防団を中核とした地域防災力の向上など、消防防災力の強化に引き続き全力で取り組んでまいります。

今後も地域に密着した消防として、職員一同、地域の皆様の安全・安心のため邁進してまいりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

災害発生件数の動き

火災件数

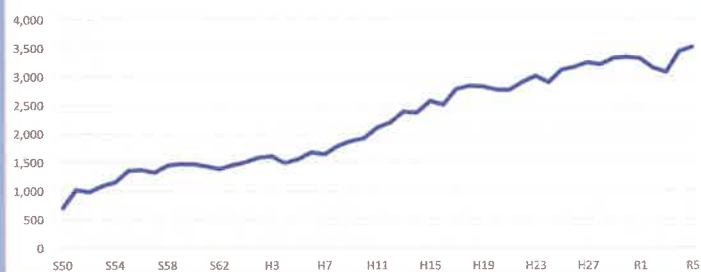


昭和50年の統計開始以降、火災件数は減少傾向にあります。

要因としては、住宅の不燃化・住宅用火災警報器の普及・市民町民の皆さんの防火防災意識の高揚などが考えられます。

これからも、火災の予防はもちろん、自然災害等への備えをしっかりと行い、安心安全な地域づくりに努めましょう。

救急出動件数



人口の減少が進む中で、救急出動件数は増加傾向にあります。

要因としては、高齢化、熱中症の増加、緊急性が低いと思われる傷病者の増加などが考えられます。

規則正しい生活や健康的な食事などによって、病気やケガを未然に防ぎ、心も体も健やかに過ごしましょう。

大規模災害の記憶

・平成30年7月 豪雨災害

大洲市
人的被害:死傷者 7名
浸水被害:住家 2,886棟
非住家損壊等 1,071棟

内子町
人的被害:死傷者 0名
浸水被害:住家 10棟
非住家損壊等 4棟



水害後導入資機材

- ・水上オートバイ(ヤマハMJ-EX Deluxe)
- ・搬送トレーラー
- ・水難救助などの現場で使用



- ・オフロード用バイク (250cc)
- ・災害時に救援活動及び情報収集に使用



・令和5年11月 大洲市戒川林野火災

令和5年11月1日午後3時25分頃、大洲市長浜町戒川地域の山林内で火災が発生し、11月8日午後1時00分に鎮火しました。

鎮火までに8日間を要し、組合管内において過去に類のない大規模な火災となりました。人工林が13.25ヘクタール焼損し、1人が初期消火活動中に軽傷を負いました。

地上で活動する消火隊と連携しながら、消防防災ヘリコプターが他県からの応援も含め延べ78回、自衛隊ヘリコプターが延べ60回上空から消火活動を実施しました。

延焼状況



上空からの状況



鎮火後の状況





山林火災後導入資機材：「ジェットシューター」

山林火災などで、ホース延長が困難な場所での消火活動に適している。背負い式消火水のう（水18ℓ）を9器増設



緊急消防援助隊



・東日本大震災

広範囲にわたる地震動や巨大な津波により死者、行方不明者合わせて約2万人という人的被害、全半壊約39万棟という住家被害をもたらした災害です。当組合から、初動派遣要員及び交代要員12名（内訳：救助隊2隊10名、支援隊2隊2名）の隊員が延べ7日間出動しました。



・広島県広島市土砂災害

平成26年8月19日深夜から20日未明にかけて、広島市安佐北区、南区の局地的な豪雨から、複数個所の土砂災害により多数の死者、行方不明者が発生した災害です。当組合から、初動派遣要員及び交代要員15名の救助隊が延べ10日間出動しました。



・熊本地震

前震による災害対応の最中であった2日後に熊本県熊本地方を震源とするさらに大規模な地震が発生し、既に被害が発生していた地域において広範囲かつ甚大な被害となった災害です。当組合から、救急隊1隊4名が延べ5日間出動しました。



クイズに答えて景品をゲットしましょう！



第1問 何を使っている？
答え＝○ようかき



第2問 この車の名前は？
答え＝はし○車



第3問 隊員が頭にかぶっているものは？
答え＝ヘルメッ○



問1から問3までの○をつなげて、できる言葉は？
答え ○○○○ （ひらがなで答えてね）

宛先：〒795-0012

大洲市大洲1034番地の4
大洲地区消防本部 警防課

「組合発足50周年」係行

応募締め切り：令和7年11月9日（日）当日消印有効
はがきに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記載して郵送にて応募ください。

抽選で、景品をお送りいたします。なお、当選者の発表は、景品の発送をもってかえさせていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】

※ご記入頂きました応募者の個人情報につきましては、本クイズの抽選、当選者への発送のみに使用します。

※個人情報につきましては、応募者の事前の承諾無く第三者に提供することはありません。

※応募者の情報につきましては、景品の発送が済み次第速やかに廃棄いたします。



祝 50 周年

《救命処置の歩み》

- ・平成3年 救急救命士制度開始（国家資格）
- ・平成7年 当組合に救急救命士誕生（2名）
- ・平成26年 指導救命士制度開始
- ・平成28年 当組合に指導救命士誕生（2名）
- ・令和6年 当組合救急救命士（43名・うち指導救命士5名）

『救命処置の歩み』

- ・平成3年 器具を使用した気道確保・静脈路確保、輸液及び電気ショック（心肺機能停止傷病者対象）
- ・平成16年 気管内チューブによる気道確保
- ・平成18年 薬剤（エピネフリン）の投与
- ・平成21年 薬剤（エピペン）の使用
- ・平成23年 ビデオ挿管用の喉頭鏡使用
- ・平成26年 心肺機能停止前の輸液、血糖測定及びブドウ糖溶液の投与

※ 右記の処置は、医師の指示のもと、救急救命士が行う救命処置です。



組合5人目の
指導救命士
森脇直春 消防司令補

救急救命士ワッペン



救助隊ワッペン



緊急消防援助隊・県内広域相互応援隊数

救急小隊9名、消火小隊13名、救助小隊13名



救助隊
1隊8名（大洲消防署本署）

愛媛県消防学校



消防職員・消防団員の教育機関です。新規採用職員に対する初任教育や、現任の職員・団員に対する専科教育・幹部教育を行っています。

教官派遣実績：2名

消防防災航空隊

愛媛県には、消防防災ヘリコプターが1機あり、災害発生時に、消火活動や救助活動を行います。

現在も職員1名を派遣中で、消防・救助活動の最前線で活躍中です。



隊員派遣実績：7名

シリーズ わが町の消防団！ No.67

大洲市消防団喜多灘分団 分団長 松下 努

地域に密着した消防団として

私たち喜多灘分団は、海と山に囲まれた地域で、団員数は機能別団員を含む32名、年代は幅広く、様々な職種の方々が集まっており、毎月の資機材取扱い、点検、巡回、広報活動などが主な活動です。

令和6年4月からは、2部体制から1部体制に変更となり、新しく詰所が完成しました。詰所前の舗装工事も地元の自治会にご支援して頂き、消防団としても活動が行いやすくなり大変有り難く感謝しております。また、地域の自主防災組織の訓練に消防団も積極的に参加することにより、地域の方々と絆を深めることができることから、災害発生時には自主防災組織と消防団が連携をとることにより、地域防災力の強化に繋がると思います。訓練を継続することにより、災害対応、防災、救急の知識や技術がスキルアップできるだけでなく、災害発生時や日常で起こりうる突発的な事故にも、落ち着いて対応することができると思っています。

我々消防団員は、地域の事をよく知り、災害時にはすぐに駆け付けることができる重要な存在であり、地域防災力の中核として予防、消防活動に日々努力してまいります。



急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

令和7年度 全国統一防火標語

熱中症に十分注意しましょう！

熱中症は
予防が大切



今、自分がいる環境がどのような状態なのかを知ること、は、熱中症予防につながります。また、熱中症の発生には、体調が大きく影響しますので、こまめな水分補給や冷房の活用により、熱中症を予防しましょう。

その日の気温や湿度の変化を知ること。室内の気温や湿度の変化を知ること、も熱中症予防に効果があります。

大洲地区広域消防事務組合消防吏員を募集します

【採用予定人員】

- 消防吏員 初級（一般） 4人程度
 - 消防吏員 初級（救急救命士） 1人程度
 - 消防吏員 経験者 若干名
- ※ 消防吏員経験者は通年で募集します。

【受験資格】

- 消防吏員 初級（一般）
平成7年4月2日以降に生まれた人で、大学、短期大学又は高等学校を卒業若しくは令和8年3月末までに卒業見込みの人
 - 消防吏員 初級（救急救命士）
平成7年4月2日以降に生まれた人で、救急救命士の資格を有する人又は令和7年度末までに救急救命士国家試験の受験資格を有し、かつ、令和7年度実施予定の同試験受験見込みの人
- ※ 救急救命士として採用された方も、消防全般の業務を行うこととなります。
- 消防吏員 経験者
昭和60年4月2日以降に生まれた人で、消防機関で消防吏員としての職務経験（5年以上）を有する人
申し込み時点で退職している人

上記に該当し、かつ、次のそれぞれの要件を満たす人

- 日本の国籍を有する人
- 採用後、大洲市、内子町のいずれかに居住可能な人
- 次の身体要件を満たす人
 - ・視力 両眼とも視力が0.7以上（矯正含む。）であること
 - ・聴力 左右とも正常であること など
- 普通自動車運転免許取得者（AT車限定を除く。）又は令和8年3月末までに免許取得見込みの人、ただし、生年月日等の関係で取得できない人は、令和8年度中に取得できる人
- 次の各号のいずれにも該当しない人
 - ・拘禁刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - ・大洲地区広域消防事務組合消防吏員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
 - ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

【第1次試験】

- 日 時 令和7年9月21日(日)
午前9時～午後5時頃
- 場 所 大洲市役所2階大ホール他
- 合格発表 10月中旬

【第2次試験】

- 日 時 令和7年11月上旬
(詳細は第1次試験合格者に通知します。)
- 合格発表 11月下旬

【消防吏員経験者試験】

- 日 時 申し込み完了後随時
- 場 所 大洲消防署3階会議室
- 合格発表 随時

【受験申込】（郵送のみ受付）

- 令和7年7月1日（火）から令和7年8月8日（金）までの消印があるものに限り受け付けます。
- 大洲地区広域消防事務組合ホームページから受験申込書、受験票をダウンロードし使用してください。（Excel版、PDF版）また、受験申込書は両面印刷とし、記入にあっては直接入力、手書きのどちらかで作成してください。

なお、ダウンロードする方法がない場合は、郵便で請求してください。封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、返信用封筒（A4判の用紙がそのまま入る封筒に140円切手を貼ったもの。返信先を記入）を必ず同封し、消防本部総務課へ郵送してください。返信用封筒が同封されていない場合は、申込み用紙を送付できません。

【その他】

詳しくは、地区回覧の「令和7年度大洲地区広域消防事務組合消防吏員採用試験案内」「令和7年度大洲地区広域消防事務組合消防吏員経験者採用試験公告（通年募集）」をご覧ください。下記までお問い合わせください。

【問合せ・書類提出先】

〒795-0012 愛媛県大洲市大洲1034番地の4
大洲地区広域消防事務組合消防本部総務課
☎ 0893-24-2666（総務課直通）
大洲地区広域消防事務組合ホームページ
<https://ozu119.jp/>

カメラリポート



令和7年5月23日(金)

当組合の救助大会陸上の部を、内子消防署で開催しました。入賞者は、6月5日(木)に松山市で開催される愛媛県大会に出場します。出場種目は、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はんです。



令和7年5月18日(日)

肱川総合水防演習が、大洲市若宮河川敷で開催され、当組合からは10名が参加しました。水防工法や災害対応訓練のほか、体験・展示コーナーも用意されており、多くの方々が参加されました。



令和7年5月16日(金)

松山自動車道鳥坂トンネル内での事故を想定した火災・救助訓練を実施しました。当消防本部からは、指揮隊、救助隊及び救急隊の3隊が参加し、他の機関との連携手順を確認しました。



令和7年4月25日(金)

大洲市消防団の入団式が、大洲市役所大ホールで行われました。

今年度は11名が入団され、真剣な表情で式に臨まれました。これから、各地域の安心、安全のために活動されます。



令和7年4月22日(火)

大洲幸楽園で、避難訓練が行われました。今回は、消火や救護の訓練も実施され、盛り沢山の内容となりました。

施設の安全・安心を守るため、実際の現場さながらに実施されていました。



令和7年2月27日(木)・28日(金)

大洲消防署長浜支署は、交通事故などにより損傷した車両に取り残されている要救助者を救出するための訓練を実施しました。今後も訓練を継続し、交通救助対応力の向上を図っていきます。



救急病院案内 (0893) 24-7000

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	昼間 加戸病院 (08:30~17:30)	(0893) 44-5500
	夜間 喜多医師会病院 (17:30~08:30)	(0893) 25-0535
木	昼間 大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893) 25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893) 24-4551
日	昼間 大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893) 24-4551
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211

※ 当直病院の交替(水・木・日曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。

病院受診の際には、当直病院へお問合せください。

大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	「内科」 初期救急
診療時間	平日・土曜 午後7時~午後10時 日曜・祝日 午前9時~午後6時 日曜(夜間) 午後7時~午後10時 (詳しくは、大洲市ホームページをご覧ください。)
電話番号	(0893) 23-1156

発行編集 大洲地区広域消防事務組合
〒795-0012 大洲市大洲1034番地の4

代表 24-0119 大洲消防署 本署 24-0119
総務課 24-2666 同上 長浜支署 52-0119
予防課 24-2667 同上 川上支署 34-2851
警防課 24-2668 内子消防署 本署 43-0119
同上 小田出張所 0892-52-3292

ホームページ <https://ozu119.jp/>